

日本キリスト者医科連盟（JCMA）静岡部会

デンマーク牧場福祉会 共催による 講演会のお知らせ

牛舎の大改修と乳製品製造ライン一新が春に完成して、早くもクリスマスを迎えようとしています。皆様のお支え、お祈りに感謝しています。新しい年も 日本キリスト者医科連盟（JCMA）静岡部会とデンマーク牧場福祉会の共催で、年に3回程度、講演会を開催いたします。

1月27日、第1回目として、1964年からのデンマーク牧場の営みの始まりのことを研究している、クリスチャン・モリモト・ヘアマンセンさんに講演して頂きます。モリモトさんはデンマークから日本に初めて来られた時に、デンマーク牧場「こどもの家」にしばし滞在、今もデンマーク牧場を訪ねて下さり、親しき交わりゆるされています。

モリモトさんに プロフィールと講演の要旨を記して頂きました。どうぞご参集下さい。

日時： 2018年 1月27日（土） 午後1時半より4時頃まで

場所： デンマーク牧場 まきばの家

内容： 講演

「ハリー・トムセンがビジョンして開設されたデンマーク牧場の始め」

クリスチャン・モリモト・ヘアマンセン 氏

関西学院大学 法学部 教授・宣教師

〔モリモトさん のプロフィール〕

- 1962年 コペンハーゲン（デンマーク）生まれ。
- 1984年9月 コペンハーゲン大学・東アジア学部日本学科入学、1993年8月、卒業。
- 1987年9月～10カ月間、日本福音ルーテル教会のボランティアとして、東京老人ホーム、デンマーク牧場、喜望の家（釜ヶ崎）の仲間たちと出会った。
- 2001年11月 コペンハーゲン大学大学院・日本研究科 博士後期課程日本社会史専攻卒。
- 2001年2月 日本キリスト教協議会(NCC)宗教研究所 研究員、副所長（2003年12月まで）。
- 2004年4月～ 関西学院大学法学部の宣教師兼教員。宣教団体アレオパゴスと関連する宣教師。研究の関心は宗教社会学であり、日本へ派遣されたデンマーク人宣教師の活動を研究している。

〔講演の概要〕

みなさんはデンマーク牧場の歴史背景を聞いたことがあるかもしれませんが、今回、そのスタートを取り上げます。エーネマリーとハリー・トムセン夫妻は、1956年来日しました。彼らは2年後、諸宗教者が出会うことができる所・『新霊山』（教会）とデンマーク式農学校を設立すれば、日本人にキリスト教を伝道できるというビジョンが浮かびました。このビジョンがどのように伝えられ、トムセンをサポートした宣教団体（現在のアレオパゴス）が、何故これを実現すると決めたのか、その後の展開について論じたいです。私より詳しくわかるのであれば、ぜひ教えてください。

袋井駅からの送迎希望の方は、**12時50分に 袋井駅の南口を出たところ**に集合下さい。
事前に、こひつじ診療所のスタッフか、武井までご連絡下さい。

JCMA静岡部会長 こひつじ診療所 院長 武井 陽一
まきばの家 こどもの家 施設長 松田 正幸
ディアコニア 施設長 金高 美江子

問い合わせ先 Tel こひつじ診療所：0538-23-0660、まきばの家：0538-23-0770